

軒昂会

軒昂会会報 第31号
 発行者 日原 雄
 編集者 田村千秋
 発行日 平成21年6月
 URL : http://ct.photo-web.cc/kkk/
 会報 : http://ct.photo-web.cc/kkk/pdf

会報は年2回予定しています。
 皆様の原稿お待ちしております。
 頂いた方にはお礼申し上げます。
 原稿の送り先
 Mail : chitamura@gmail.com



平成20年軒昂会総会職員、箱根湯本ホテル
2009/04/23

平成二十年度総会

若葉の緑が目にも鮮やかな箱根湯本温泉郷で今年も二十回目の軒昂会総会を開催しました。年々参加者が少なくなる傾向にありますが参加された方々の一年ぶりの再開を祝いました。

第二十回軒昂会総会

日時 四月二十三日
 時間 十八時～

場所 箱根湯本ホテル

総会出席者 十二名

会長挨拶 日原会長 西牧副

会長 共欠席のため会開挨拶は

本間幹事にお願ひしました。

会計報告 田村 小泉

前年度より繰越金

五十一万七千五百六十六円

入金 一万二千元

出金 十一万二千七百一十一円

次年度へ繰越金

四十一万六千三百九十五円

監査報告

野呂監査役 監査報告
 会計報告通り承認されました。

会員の動向報告

昭和六十三年軒昂会発足時
 七十七名

平成二十年五月までに会員登録され
 た総員 百四名

亡くなられた方 十四名

会費滞納、転宅及び本人の申告等で
 脱会された方 六十二名

現在の会員 四十五名

平成二十一年四月二十三日現在

総会

年々会員が減り少しばかり淋しい感じがしていますが、新会員募集キャンペーン（元AMT社員に募集案内を出す等）をおこなって見るのも手かなと考えてます。

会員の平均年齢は六五歳になりました。総会出席者数は昨年と同じ十二名でした。

日原会長・西牧副会長両名は検査入院及び健康上の理由で欠席されましたので総会開会の挨拶は本間幹事にお願ひしました。

年々加齢するのを止めることができませんが健康に留意して何時までも元気で頑張ろうとのスピーチに皆もつともだと納得しました。

会員の近況紹介

◎家庭菜園、ゴルフ、ゲートボール等楽しんでます。 実川忠

◎何も変化なく、自分の身体に合わせパークゴルフをやってます。坂井真哉

◎出席できず正に無念。祈、ご盛会。メトレックスはかけがえなき私の第二の人生の故郷であり、酒友、悪友との交遊の歴史。七十余年の人生を生きてこそ真の友情の貴重を知る。谷田正雄

◎昨年十一月から再び会社勤めを始めた。休みが取れませんでしたので失礼します、皆さまによろしく。鈴木誠次

「狩り馬鹿」半世紀 西牧準夫

(前号の続き)

アマダ(伊勢原)釣り大会

天田力雄常務を会長とする釣り会で、ヘラブナ釣りの名人と称する大先輩達と共に、河口湖に集合徹夜のひと時を楽しみながら、夜明けを持っての釣りも、成果は余り良くなく全員各々釣った稚物の目方を記録し、魚は全部湖へ返すこととなっていた。私の結果はゼロ(ボーズ)。その時、天田会長が小振りのもの数匹を、私に差し出し「西牧君、これをお前の家の池で飼って見たら」と、私は酸素をビニール袋に入れて持参していたのでその中に入れて、伊勢原の自宅まで持ち帰り池で飼う事にした次第。その当時は伊勢原工場周辺でも、鰻や鯰、金ぶな等が捕れ、自宅の池にもいつも何種類もの魚を飼っていました。大雨が降る度に雨水で庭一面が水浸しとなり、特に鰻やヘラブナ等はすぐに逃げ出し、数度の豪雨で、野生の魚達は全て失ってしまいました。

アマダ生産技術酒匂川鮎釣り会

生産技術の太公望十枚名のメンバー達、中には、井下主任現取締役)や諸藤誠氏(工務課)の自称アユ釣り名人の面々、流石名人、私より数倍の速さと数を釣り上げる。その頃は、現在より鮎の数も多く釣り上げた鮎で、刺身、大ぶら、塩焼きと食べ放題、酒の肴に家族全員の夕食の総菜にと、食べきれない程釣れたものです。

釣り立ての鮎のお土産

当時、毎週木曜日にプレス技術開発の勉強会「大木教室」が新橋で午後六時から開かれていた。私も選任され出席していましたがその大木先生が鮎が好物と聞き早朝四時に起床し酒匂川まで出かけて、二時間で二十四〜三十四釣り上げ、そのまま工場に直行、会社の食堂で朝食をとると共に釣った鮎を冷蔵庫に保管を依頼、午後六時鮎をもつて大木教室へ、

角館の枝垂れ桜

今年になってから新型インフルエンザが世界中で猛威を振るっていますので予定していた海外旅行はキャンセルして延期としています。したがって昨年末の韓国・慶州の世界遺産探訪以後行っていません。そのため代替の国内旅行を楽しんでいます。四月末に東北旅行そして六月に入ると四万十川を見に四国旅行に出かけることにしています。

櫻田 忠男

今回は「みちのくの旅」でみてきた花見の様子を記事にしました。紹介する「みちのくの小京都角館」には桜の花を見る二つのポイントがあります。一つ目は染井吉野、二つ目は枝垂れ桜です。我々が訪れた四月二十八日は横浜では既に桜の季節は過ぎ去っていましたが檜木内川堤防の染井吉野は満開で桜の花のトンネルを作っていました。



軒を連ねています。

最も格式の高いのが青柳家で邸内には樹齢三百年の枝垂れ桜の古木がありJRのポスターでもお馴染みです。この時季、花としての峠を越して散り始めましたがこの古木の花をじっくりと観賞してきました。この街はまた秋田美人の名産地としても名高いところですが、「面長で、色白、目元涼しい」が条件と聞いていましたので懸命に探し出しました。こちらは雑踏にまぎれて見つけることが出来ませんでした。



H11-6-4わが家の池で釣り上げた金ぶなの魚の息出
し失 次の池 までおあずけです

「今朝早く釣ってきた鮎です。召し上
がつてください」と大木先生に進呈し、
先生に喜んで貰ったことを、今に思い出
す程に我ながら苦笑の限りである。

●愛甲石田でヘラ鮎
釣れたか？ 掛ったか？

現在成瀬中学校横、小田急線高架工
事、安田倉庫の横を流れる川「歌川」で
の釣りの意外話です。

今から五年前前のこと、その日は朝か
らの雨も上がり、むしろ暑い夕方であつ
た。リール竿と餌のみみず、大きいビ
ニール袋を片に、現在高架工事の場所よ
り少し下流の橋の上から釣り始めるや、
すぐに「入れ喰い」みみずで十五センチ
級のヘラ鮎を続けて三枚、続いて三十セ
ンチ級の鮎を釣り上げに五十五センチ
級のヘラ鮎を釣り上げた。残念。翌
「プツン」と切られてしまった。残念。翌
日、五十五センチ以下の鮎でも大丈夫な
タモ網を買って、夕方から本腰の構えで
昨日の釣り場に向つたが、柳の下には
魚は見当たらず、上流の鉄橋の下の大池
(昔から地盤が悪く、現在の線路全体が
約二〜三メートル下り、増水の度毎、常時
ブルドーザーで砂をかき出し難を逃れ
ている大池)が最高の釣り場と思われ
ていたがそこでも一匹も釣れ「こんなもの
か」と諦めて帰宅。
今日も三枚のヘラ鮎は、私の庭の池で
餌サを与えるとは半分は逆立ち状態にな
りながら食べて元気に生き延びています。

●釣りは鮎に始まり、鮎で終わる
始まりの鮎とは金鮎又は真鮎をいう。
口が丸く釣りの引きも強く、初心音でも
よく釣れる。終わりの鮎とはヘラ鮎を云
う。ヘラ鮎は口の上あごが下あごより
短かい為、川底に落ちた餌を食べると
き、逆立ちの状態になってしまう。又、
引きが非常に弱いので仲々釣りにくい
魚である。



湖、川や釣る
魚の種類別に
も、すべて棚
合わせが必要
となりませ
ぬ。まだまだ私
には釣りの能
がきを云う資
格はありません。
それは今日まで
ヘラ鮎を釣った実績
が左記の三枚
と他で一枚、僅か四枚ですから。(完)

六十四歳の派遣社員 宮本新司

私は平成十八年十二月六十四歳にし
て再就職しました。(と言っても派遣で
すけど)何でもまた今更と思う方もいら
っしゃるかと思いますが、まだまだ体が
動くうちはと思ひ仕事をすることにし
ました。その前に今までの会社人生を
振り返つてみようと思ひます。

●初めての就職

高校を卒業して就職する際なるべく
家に近いところがいいと思ひ学校の募
集掲示板を眺めどこか無いかと思つて
探していたら、ちようどいい具合に有
りました。当時私は、相鉄線の希望ヶ
丘に住んでおりました。見つけた会社
は、当時東証一部の上場会社で横浜精
糖という会社で、やはり同じ相鉄線の
平沼橋の駅前にある会社でした。早速
就職担当の先生に受験したいのですが
相談をしたところ、先ず無理だろうな
と軽く言われてしまいました。

なぜなら、今まで毎年受けても合格した
のは、一人しかいないということでした。
その一人も父親が工場長だということ
で、縁故の非常に強い会社だということ
で縁故がないと無理だろうけどいいか
と念押しされた。さらに今年縁故で一人
応募するから余計無理だとも言われた。
(彼は落ちた幸いにも試験に合格し入社す
ることができた。近くに決まってくつ
たと思つていたが、まさか東京勤務にな
るとはそのときは知る由もありませんで
した。卒業を待たずに入社するようにと
連絡が来た。

いよいよ卒業試験も終わり平沼橋にあ
る本社に出社すると、君は、経理部、だから
東京の呉服橋勤務だといわれ東京という
地名は知っていましたが、呉服橋ってど
こだとぼかんとしてしまつた。場所は知
らないし一人で行くのかと思つてい
たら幸い東京の総務課の人が用事があつ
て来ていたので連れて行つてもらつた。
着いた場所は、東京駅の八重洲南口を出
て、大和証券本店のビルの七階でした。
まさか東京勤務になるとは夢にも思ひま
しませんでした。

当時は相鉄沿線の希望ヶ丘から横浜ま
では急行で約二十五分ぐらい掛つたと思
ひます。横浜から東京までは約三十分ぐ
らい掛りました。東京駅から大和証券ビル
までは、七分ぐらいと近かつたのです
が、エレベーターが四台あつたのですが
タイミングによつては全部が行つてし
まつた後ということがよくありました。
仕事は、売り上げ、日計表、元帳と、当
時は岡山で農家に甜菜糖(砂糖大根)の作付
けをしてもらつていましたので、その収
穫の計算等が主な仕事でした。入社して
5年ぐらい経過して他の製糖会社と新会
社を設立し横浜工場からだいが人が移つ
た為人が手薄になつたということ、横
浜工場の総務課に移動になつた。(約一年
弱)
こうして勤めている間にも、精糖業界
に着実に不況の波が押し寄せてきてい
た。当時は、工場が横浜(平沼橋)と、岡山
山工場に設備を増強して生産を一本化す

閉鎖にあたり神主さんと呼んで祝詞を
あげてもらつたことを覚えてる。(現在
その場所は、鶴見歯科が使つていま
す。)私も、また東京の経理部に戻り以
前と同じような仕事をしていました。製
糖業界も量り売りから、小袋に容れて売
る時代へと変革していた。そこで、岡山
工場に原料投入から小袋封入までの一貫
した工程の当時としては、最新鋭小袋生
産工場を立ち上げた。従来の人による現
場管理から、制御パネルによる管理へと
変わったわけです。でも、まさか自分が
その仕事をするととは想像だにしません
でした。生産要員全員が事務部門から配
転になつたのです。東京からは、経理から
二名、販売から二名総務から一名、岡山
工場から、総務2名、業務2名、計九名
の構成です。その後東京から約五〜六名
が岡山工場に転勤になりました。なに
しる初めての工場勤務です。

横浜工場でおぼろげながら工場とはこ
ういうところだと解つていたつもりです
が、まさか自分がそうなるとは夢想だに
していなかったのかかなり抵抗がありま
した。赴任するまでに何度か会社を辞め
ようかとも思ひましたが、一度ぐらい親
元を離れて寮生活をするのもいい経験か
な？岡山というところはどんなところか
な？一年ぐらい行つてどんなところか見
てくるのも悪くないかな？と思つて転勤
することにしました。横浜工場のあつた場所
から車二台で出発した。途中、何力所か
見学しながら確か三日ぐらいかけてゆつ
くりと赴任しました。場所は、岡山駅か
らバスでと三十分くらい(当時)かかる
ところで、岡山港の築港元町と言つて港
に近いところでした。



野川公園の花

編集後記
会報三十一号作
成にあたり、宮本
会員より長編(八
頁)の原稿頂きま
した、題して「六
十四歳の派遣社
員」今号より連載
で掲載します。
西牧さんの「狩
り馬鹿半世紀」は
今号で完結です。
釣りにまつわる多
彩な経験談を披露
していただき有難
うございました。
釣り趣味の方々に
は大いに参考にな
つたと思ひま
す。

平成二十年度総
会案内はがきのお
返事でイメール
お持ちの方は十四
名であることが分
かりました。
次号より会報を
メールに添付して
(PDF)送信しま
すのでよろしくお
願ひします。また
メールお持ちでな
い方には従来通り
郵送します。
皆様からの原稿
御待ちしてます。
また写真等の画像
大歓迎です。
尚投稿下さつた
方には謝礼(図書
券)差し上げてま
す。
編集者